

会 議 名	平成30年12月27日定例記者会見
日 時	平成30年12月27日(木) 午前10時10分～10時54分
場 所	庁議室

発言者	内 容
広報課長	<p><b>開会</b></p> <p>定刻になりましたので、ただいまから定例記者会見を始めます。それでは市長から一括してご説明申し上げます。本日の発表事項につきましては6件となっております。</p> <p>(1) <b>福島圏域の魅力が詰まった婚活イベント！</b> ～福島圏域出会いの場創出事業『阿武隈急行とバスで行く♡縁結びツアー』～</p>
市長	<p>はい。私のほうから発表させていただきます。まず1件目は、いわゆる婚活イベントです。福島圏域の魅力が詰まった婚活イベントを開催します。</p> <p>本年、福島圏域連携推進協議会を創りましたが、最初の主催事業として出会いを求める福島圏域の独身男女を対象といたしまして、阿武隈急行と貸し切りバスを利用して圏域内を巡る交流イベントを実施いたします。</p> <p>日時は来年の2月3日午前8時30分から午後5時10分です。西口のバスターミナルに集まっていただいて、広域らしく、レガレこおりや、道の駅国見あつかしの郷、さらにはまちの駅やながわなどを回って歩いて、ふれあいや交流を通してご縁が出来ればよいと考えております。</p> <p>対象等に関してはチラシをご覧いただきたいと思います。今回は総合司会にぺんぎんナッツさんという感じで場を和ませるように工夫しておりますが、定員は男女ともそれぞれ20名ということで、20歳から40歳の独身の男女を対象としております。また参加条件としては、男性は福島圏域の11市町村にお住まいの方あるいはお勤めの方と制限がありますが、女性は制限なしとしております。多くの方の参加をお待ちしているところでございます。1件目は以上になります。</p> <p>(2) <b>オール福島でごみを減らそう！</b> ～「ごみ減量大作戦」第1弾 ごみ分別アプリサービス開始～</p> <p>2点目ですが、ごみ減量大作戦の第1弾として、ごみ分別アプリのサービス開始をするというものであります。</p> <p>ご承知のように、本市は一人当たりのごみ排出量が全国的に見ても大変多い状況になっておりまして、これまでごみの有料化</p>

について検討していただきましたが、審議会からは市民に対する意識の啓発が先決という答申がありました。それを受けまして、行政、市民、事業者が一体となってごみ減量大作戦を展開していきたいと思っております。

その第1弾として、ごみの分別とか出し方、収集日をスマートフォンで確認できる、あるいはスマートフォンでお知らせしてくれる、そういうサービスを開始するものであります。ついごみを出す日を忘れてしまったり、間違えたりする場合がありますが、それを解消していただけるのがこのアプリでありまして、ぜひご利用いただきたいと思っております。

ごみの排出量に関しては、この資料1の「経過」にありますように、本市の場合28年度で一人当たり1,255グラム、それから29年度で1,239グラムとなっておりますが、目標としては890グラムまで下げるということになっておりますので、かなり減らしていかなければなりません。これから大作戦を展開しようということで、今回第1弾にこれを行うわけでありませ

ず。内容は資料の2に書いてありますが、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」を導入しまして、アプリは無料であります。注意事項として、1月15日にサービス開始ということなので、今ダウンロードしても使用できませんのでご注意ください。ごみ出しの通知機能がついていて、前日と当日に出せるごみをアラーム機能でお知らせするというものであります。そしてごみの分別辞典で該当する分別区分を検索可能ということで、さらには地区を入れればその収集のカレンダーを表示してくれるというような機能がついております。日本語、英語、中国語、韓国語の4カ国語に対応したアプリであります。今後資料の(2)にありますように事業者向けセミナーとか、座談会などをやるわけでありませ

### **(3) 未来の「食」と「農業」の担い手を応援します**

#### **～福島市農業賞に農業奨励賞を新設～**

それから3点目になります。従来から福島市で、福島市農業賞を設けまして、農業に貢献のあった方々を表彰しておりましたが、今度新たに農業奨励賞というものを新設いたしました。

これはどういう狙いかというと、資料の本文の3段目からありますが、若手にしっかり頑張っていただく、それから単に農業といっても生産するだけではなくて、6次化や、あるいは生産

だけではなくて、いろいろな人に知ってもらう幅広い地域活性化の取り組みに農業を活用していくということが重要だと考えております。このために若手とか、地域活性化に貢献された方を対象とする農業奨励賞を新設いたしました。この表彰を機に、若手の方とかあるいは活性化に取り組む方には一層頑張っていたらという趣旨であります。

全体的な体系は資料の1の「農業奨励賞の新設について」と書いてあります。農業賞については、〇〇部門というかたちでいろいろな部門がありますが、今回新たに農業奨励賞というものを新設し、若手を対象とした次世代農業者部門と、もう一つは地域活性化部門といたしまして、6次産業化、食農活動、あるいはグリーンツーリズム、こういった活動を展開している農業者、これらに貢献している学校、6次産業企業などを表彰していくというものであります。

今回初めてこれの受賞者が決定いたしました。従来の農業賞については資料の2にありますように水保地区遊休農地対策協議会ということで、ここは今我々、遊休農地の農業後継者に対する集積を進めております。この中間管理事業を活用して、これまで52haあまりの農地を集積して、貸付などの活用につなげたということで、今回水保地区遊休農地対策協議会を表彰しようということでありまして、次に裏面の、新設の農業奨励賞であります。次世代農業者部門は橘内義知さん、そして望さんのご夫妻を今回大賞に決定いたしました。この2人は、下の説明にもありますように、平成22年に家業の後継者として就農以来、家のなかだけではなく、地域の農業者との交流とかJAの指導会への参加、あるいは先進地の調査研究などを通して、積極的に新しい技術を取り入れられています。また、風評払拭の活動にも積極的で、ふくしま土壌ネットワークの副代表などを務めまして、6次化の商品の開発とか絵本の発行、それから食育事業などを通して、くだもの王国福島のブランドイメージの向上に寄与しているということで、栄えある第一回目の表彰受賞者に決定をいたしました。それから、地域活性化部門の農業奨励賞は、油井健治、妙子ご夫妻であります。健治さんのほうは市民農園開設時から、管理組合長を務められまして、幼稚園や保育園児を対象にしたジャガイモの植え付けとか収穫体験、あるいは遊休区画での大豆の栽培など、多岐にわたって活動されていて、地域農業の牽引役として大きく貢献したということでありまして、また、妙子さんは農業委員を務めていて、また食育推進懇談委員ということで、食育活動にも携わっています。また、女性認定農業者会の初代会長として、農業女子を引っ張る役割を担っているということでありまして、それから皆さんも

お聞きになったことがあるかとは思いますが、もんぞう農園というちょっと変わった名前の農園を経営されておりまして、リンゴを使ったジュースを作るというだけではなくて、ラベルのデザインを福島西高の生徒にしてもらったりして、単に自分たちが生産するというだけではなくて、周りを巻き込んで、あるいは若い人達を巻き込んで、地域を知る・学ぶ機会を作っているということで、今回受賞されることになりました。表彰式は、来年の1月17日4時からウェディングエルティの農始祭で行います。

**(4) ネーミングライツ・パートナー募集期間延長  
～福島市国体記念体育館～**

それから続きまして、ネーミングライツ・パートナーの募集期間の延長ということになります。先日、福島市国体記念体育館のネーミングライツの募集を発表させていただきましたが、残念ながら今までのところ、募集に応じてくださる方は出ていないという状況でございます。ついては、最終的に明日まで応募がない場合は、2月28日まで募集を延長させていただくということにいたしますので、ぜひご応募いただきたいと思っております。

**(5) 「東京2020オリンピック開催地」を横断幕等でPR  
～オリ・パラ歓迎ムードを加速します～**

それから5点目になります。5点目は、オリンピック・パラリンピックのムードを盛り上げようということで、福島駅の東口と西口に機運醸成のための横断幕とかラッピングを施そうというものであります。西口においては、西口の大庇の縦柱にラッピングを行います。それから東口にはキャノピーの支柱に横断幕をおきまして、今度帰省でたくさんの方が帰ってらっしゃいますので、帰ってきたときに、「あっ、そういえば福島でオリンピック開催するんだな」ということを分かっていたら、ムードが高まってくるようにしていきたいということになります。既にラッピングに関しては、本日の10時に作業が始まりました。それから横断幕は3時半から作業を行うという予定であります。設置期間は、2020年の1月31日までと予定しています。イメージ図は資料の後ろにある通りこちらが支柱につけたラッピングのイメージ、それからこれは東口の横断幕のイメージでございます。

**(6) 「土湯温泉町地区まちづくり協議会」が「第3回先進的まちづくりシティコンペ」国土交通大臣賞受賞**

	<p>続きまして6点目であります。これは昨日国土交通省から発表されましたが、土湯温泉町地区まちづくり協議会が、第3回の先進的まちづくりシティコンペにおきまして、国土交通大臣賞を受賞したということの報告であります。この取り組みは、もともと国交省のほうでこういうコンペをやって、優秀なところは積極的に国土交通省のほうで国内外に周知をしてくれて、インバウンドの誘致などにも役立てていこうといった取り組みで、フランスで見本市のようなものでも紹介してくれるそうです。これに、土湯温泉町地区が、表彰団体は全部で5団体あるのですが、そのうちのひとつとして受賞をされることになりました。</p> <p>内容は、資料の3に書いてある通り、ご承知の通り土湯温泉町地区では、大震災で旅館などが廃業されましたけれども、そういった施設も決して放置しないで利活用するというので、これまでも、中之湯とか、あるいは公共の駐車場とか、あるいは新年に市の方でオープンしますけど、来春ですね、観光交流センターとか、まちおこしセンターなどを今整備してまちづくりに努めています。それから、温泉と水力を活用した発電事業、あるいはその温泉の熱を利用したオニテナガエビの養殖といったことで、本当に地域のなかでいろんな循環をさせてですね、活性化に取り組む非常に面白い取り組みだと私も思います。その取り組みが評価されて、国土交通大臣賞を受賞されたということでございます。詳しい内容は、また裏のエントリーシートの内容をご覧くださいと思います。私からは以上であります。</p> <p><b>質疑応答</b></p> <p>それではただいまの発表事項について、質疑応答に移ります。ご質問がありましたら挙手指名ののち、社名とお名前をおっしゃっていただきご発言をお願いいたします。それではご質問をお願いいたします。</p> <p>特にないようですので、発表事項以外の件でご質問がありましたらお願いいたします。</p> <p><b>福島テレビ</b></p> <p>福島テレビの井上と申します。昨日認可外の保育施設で死亡事案が起きていると思います。市長の方からコメントがでていますが、改めてどう受け止めていますか。</p> <p><b>市長</b></p> <p>昨日コメントで発表いたしました。この度市内の認可外保育施設におきまして尊い幼い命が失われる事案が発生いたしました。私としても大変残念であり、亡くなられたお子さまのご冥福をお</p>
--	--

	<p>祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆さまに対しまして心からお悔やみ申し上げます次第です。安心安全であるべき保育施設でこのような事案が発生したことは大変遺憾なことであります。原因は調査中ではありますが、二度とこのようなことが起きないように、昨日すべての保育施設に対して注意喚起をいたしました。また、今後認可外の保育施設に対して改めて立ち入り調査等を行うなどいたしまして、保育環境の質の確保を図っていきたくと思っています。</p>
<p>福島テレビ</p>	<p>聞いたところによると、該当のご家族の方は認可施設のところに入れたかったそうですがなかなか入ることができず、信頼できるということで認可外の保育園に預けたばかりでこのような事故が起きてしまったところだと思えます。認可外の保育施設が一概にすべて悪いと言うつもりは全くないのですが、今後認可の施設をより充実させるなどの対策が必要だと思うのですが、市長は今後どのようにしていきたいと考えていますか。</p>
<p>市長</p>	<p>認可外だから危険だというわけでは決してないと思っておりますが、まず認可でご希望の方はきちんと入れるような対策を今後とも強化して、待機児童の解消ができるようにしていきたいと思っています。</p> <p>先日も待機児童対策会議を開催し、市としての取り組み方針をご説明させていただきましたが、来週には475の定員の拡大をする予定です。それだけでなく、保育士さんの確保や保育士を育てる研修の実施などさまざまな対策を講じて待機児童の解消に努めていきます。認可外についても、福島市が中核市なったということで、認可外施設の指導監督を福島市が実施することになります。今回の認可外保育施設に関しても私どもで夏に立ち入り調査をしていますけれども、具体的に昼寝に関する注意事項をすべての保育施設に周知徹底をさせていただきました。</p> <p>実は国の基準では、どのくらいの間隔で昼寝の点検をしたらいいのかという明確な基準はありません。定期的に子どもの呼吸・体位・睡眠状態を点検すること、となっています。市としては、オーソライズされている、NPOが作った家庭的保育の安全ガイドラインというのを活用して、0歳児であれば5分ごと、1歳児であれば10分ごとに点検してほしいということをこれまでも園に申しておりました。市では、公立ではこのような点検表を使って、個別にやったかどうかチェックして残すようにしています。今回の事案がありましたので、認可外にもこれらを示して点検してくださいとお伝えしました。いずれにしてもきっちりと検証することが大事だと思いますし、それらを踏まえて市としての指導</p>

	<p>の徹底をしっかりとしていきたいと思います。</p>
福島民報	<p>福島民報の吉田です。今市長がおっしゃった通り中核市になってから指導の責任が市役所になったということですが、市の指導の時間を認可外保育施設が守っていない状況でしたが、県北保健事務所からの引継ぎ体制等はどういう状況なのでしょうか。</p>
市長	<p>今回の件は引継ぎの関係で問題があるというわけでは決してありません。むしろ市のほうで独自にこういうガイドラインで数字も使って指導していますので、実際に7月の立ち入り検査のときにも口頭ではありますが、こういう間隔でやっているのぜひやってくださいとはお伝えしています。口頭以外でお示ししていればより徹底していたのだと思いますけども、今回のことを踏まえて子どもの安全が図られるような対策をしっかりと働きかけていきたいと思っています。</p>
福島民報	<p>そうすると市の独自のガイドラインとおっしゃられた気がするのですが、4月から家庭的保育の安全ガイドラインに則って市が指導していたということですか。</p>
市長	<p>そうですね。これまで市は直接的には無認可の中では権限がありませんでしたが、4月から指導監督の権限が市に来て立ち入り調査をするときに、どのような指導をするのかという点で現場で検討して、その上で実際に南福島保育園に対して7月の時点では感染症の流行時には衛生面に配慮すること、物品の転落防止に配慮すること、職員の健康診断実施に関することといったことを点検の結果として通知していますし、通知自体は極めて簡単に書いてありますけども、内容については現場の調査のときにお伝えもしています。市としてはむしろきめ細やかな対応をしたのかなと私は評価しています。</p>
共同通信	<p>共同通信の井沼です。7月の市の立ち入り調査なのですが、聞き取りの調査の際に昼寝の状況を実際に見ていなかったと聞いているのですが、調査の在り方を今後変更する予定はありますか。</p>
市長	<p>今回の検証やこれまでの指導の実態などを踏まえて検討していきたいと思っています。</p>
共同通信	<p>立ち入り調査についても、調査の仕方のガイドラインを作成するということですか。</p>

こども育成課	立ち入り調査のガイドラインを作成するかどうかについては、立ち入り調査の在り方も踏まえて検討してまいります。
市長	調査のときに使うチェックシートみたいなものはあります。ガイドラインというよりはきちんとどういうチェックをするかということがひとつあって、その時に昼寝の確認ということであれば、先ほどのガイドラインに沿った0歳児は5分、1歳児は10分間隔でお願いしますということは現場でしっかりと共有されていると考えています。
テレビュー 福島	テレビュー福島の小枝です。当該施設に25日に確認・聞き取りを行っているとのことですが、どのような確認・聞き取りを行ったのですか。
市長	まず今回の場合、司法解剖などがありますし、なんといってもお子さんが亡くなられたということで、園のほうはそちらの対応に注力するというのが第一だと私は思います。そうした中で我々としてできるだけ体制の状況、お子さまの状況、そういったことを聞き取りしたと認識しています。
テレビュー 福島	体制の状況というのは具体的に何ですか。
こども育成課	午睡時に子どもが何人いて、保育士が何人保育しているというような基準を満たしているかという体制、それから、園としてもやはり動揺していたので時系列でこのお子さんがどういう状況で、先生がどのような状態で事故が起きたという経過の聞き取りをしました。
テレビュー福 島	それを具体的に聞きたいのですが。
こども育成課	それはこれから捜査にも関わってきますので、あくまでもその時の園の先生方の話を聞いただけです。事実確認はこれから調査していくところです。
テレビュー 福島	では園はなんと言っているのでしょうか。例えば昼寝のときは何人で見えていて、資格者は何人、無資格者は何人いてというようなことでいいのですが。
こども育成課	午睡のときは保育従事者が4名で、子どもが15名でしたので基



	<p>準を満たした保育でした。資格は保育士の資格をもつ保育士が2名、資格の無い補助者が2名の計4名体制だったということは聞き取りしています。</p>
<p>市長</p>	<p>どちらにしてもお子さんが亡くなったばかりですので、我々もしっかりと検証していきたいと考えています。</p>
<p>テレビユー 福島</p>	<p>当時保育園のほうでは10分に1回は見るという市の方針を実際行っていたのですか。</p>
<p>こども育成課</p>	<p>10分ごとに一人ひとり睡眠の観察をしてくださいと、7月の立ち入りで保育園のほうにはお伝えしていましたが、それはあくまで望ましいというか保育時の事故防止のためにしていただきたいという助言でした。その当時は実際には30分に1回だったというような聞き取りでしたが、この30分に1回というのは違反ではありませんけど10分に1回でとお願いをしました。そして25日の段階では10分ごとにはしておらず、30分ごとにもしていなかったと聞き取りをしています。</p>
<p>テレビユー 福島</p>	<p>一部の報道では1時間だったということなのですが実際にはどうなのですか。</p>
<p>こども育成課</p>	<p>そこは園長先生がお話しになったこともありますが、正確な事実が確認されていないので現在調査中です。</p>
<p>テレビユー 福島</p>	<p>市は一定の基準を満たした認可外の保育園には証明書を出していますけど、この園にも証明書を出していたと聞きました。30分に1回というマニュアルに対して10分ごとにお願ひしますという言葉だけで証明書を出していますけど、証明書を出したことは適切だったのですか。</p>
<p>こども育成課</p>	<p>証明書は29年度に福島県の県北保健福祉事務所が所管でしたので、県のほうで立ち入り調査をして31年3月までということで証明書を出しています。福島市では今年度の立ち入り調査を受けて基準を満たしているかというところを確認して、31年度の証明書を出すようになっていきます。今回の証明書は県のほうで出しているものでした。</p>
<p>テレビユー 福島</p>	<p>でも市のほうで7月に立ち入り調査をして次の更新分を出そうとしているのですよね。</p>

こども育成課	7月に南福島保育園さんに立ち入り調査をして、その時点では基準を満たしていたので証明書を出すという判断でしたが、これから検討していくところです。
市長	ちなみに、国の基準は定期的に子どもを云々としか書いてないです。我々はあくまでNPOのガイドラインで、ある意味なんの拘束力もないものですが、市としてはそれが望ましいだろうとやっているわけです。それが完全に守られないとだめかということと必ずそのような法律の体系にはなっていないんですね。そこは基準があいまいであるということをご理解ください。
福島放送	福島放送の佐々木です。今の基準があいまいであるということですが、福島市で平成25年にも認可外の保育施設で同様な8ヶ月の子どもが亡くなる事案があったと聞いています。この5年のうちに2回あったということもあり、その基準を市のほうで設けるなどのお考えはあるのでしょうか。
市長	<p>これから検証をして、法的な整理と、やるのであれば条例でどこまで規制がかけられるか。現実的にはさまざまな保育園で保育士さんが大変な中でやっているわけです。当然安心安全が求められるわけですが、一方でいかに保育の機会を提供していくかということもありますので、いろいろと検討した上で、今後の在り方を考えていきたいと思います。</p> <p>特に、私自身は国に対してもしきりに言ったのですが、新年の10月から無償化になって、国の方針では認可外とか普通のベビーシッターも無償化にするという方針があります。これは私だけではなく全国市長会でも大変問題にしている、無償化で次から次へと人が来てしまいます。一方で安全の確保や質の確保ができないままサービスの提供だけがどんどんと無償化で拡大するのは問題ではないかと、ずっと国に申し入れしていました。改めて今回の件を含め、無償化になったらどうするのかと強い問題意識をもって検討していきたいと思います。</p>
福島放送	先ほど昼寝しているときのチェックシートは公立のところは活用されているとのことですが、それを認可外のところにも記録として残るように活用するというようなことは、例えば明文化だとか、認可・認可外にかかわらず活用するなどはお考えでしょうか。
市長	こういったものをどう使うかというのは園の工夫にもよると思います。我々としてはこういったものをお示しして、できるだけ記録が残るように、ちゃんとチェックができるようにと、一つの

	<p>参考事例としてお示ししたので、ぜひこういったものを使いながら子どもたちのチェックに怠りや問題がないようにしていただきたいと思っています。</p>
テレビユー福	<p>度々すみません、テレビユー福島の小枝です。保育士の研修等を実施して対策を図るということですが、例えば睡眠時の再発防止の対策等は考えているのでしょうか。</p>
市長	<p>今申し上げましたように、これは特別な技術がいる話ではありません。きちんとチェックをして大丈夫かどうかを見て、漏れのないようにこれを使って確認するということです。そういったものは今後とも立ち入り調査の際にはしっかりと見ますし、今回の事案を踏まえてどのような体制になっているかは改めて全園に対して確認したいと考えています。</p>
テレビユー福島	<p>記録を残すことを義務付けるということによろしいでしょうか。</p>
市長	<p>そこはですね、どういったものが義務付けなのかとか、単純に義務付ければよいということではないので、そこはご理解ください。我々も単に、やれ、というお上の発想ではないので。</p>
テレビユー福島	<p>認可外施設に立ち入り調査をするということですが、いつ頃行うのか、またどういった部分を具体的に見ていくかを教えてください。</p>
市長	<p>立ち入り調査は、定期的にするようになっていきます。たまたまどこどこに問題があるという臨時の立ち入り調査もありますし、定期は我々も証明を出さなくてはならないので、やってまいります。</p>
テレビユー福島	<p>この件を受けて緊急の立ち入り調査を行うことはあるのでしょうか。あくまで定期的に立ち入り調査を続けるということですか。</p>
こども育成課	<p>立ち入り調査については、この件を受けて年明けから私たちのほうで改めて認可外保育園全園に行きたいと考えています。</p>
テレビユー福島	<p>具体的に直近で1月とか2月ですか。</p>

こども育成課	福島市内の認可外施設は36園あります。できるだけ早く、1月から進めたいと思っています。
テレビユー 福島	具体的にどういうところをチェックしますか。
こども育成課	夏に一度立ち入り調査を行っていますので、その時に公表した、指摘した事項の改善、それから安全な保育がされているかという安全面、感染症対策を含めた衛生面、保育の状況などを見てまいります。睡眠時のチェックはもちろんですが、そこピンポイントだけではなく認可外保育施設の保育全体の質を見ていこうと思っています。
広報課長	お時間のほうが過ぎていきますので、最後にご質問のある方お一人にさせていただきたいと思います。ご質問ある方どうぞ。
福島放送	仕事納め式を廃止される狙いを教えてください。
市長	働き方改革の一環ですが、年末年始にこういった行事が無ければ長期休暇ができるという人もいます。長期休暇を取りやすくしたり、後は、仕事納めで話をして、仕事始めでも話をして、言うほうからしたら大して変わらないんですね。「ご苦労さん」というのは年末特有の事項としてありますが、重なる部分は簡素化しようということです。年始もこれまでは課長級以上全員が出先機関から集まってきてやっていました。私の方針を直接伝えるという点では良い面もありますが、一方でそのためにわざわざ出てきてもらわなくてもITなどを使えばいくらかでも共有できますので、簡素化しようということで、今回年末年始の仕事納め式と仕事始め式のやり方を簡素化、一部廃止をしました。これだけではなく、私自身いま一人一改善運動を含めて職員にはいろんな面で意識改革を促しています。こういうふうに当たり前と思っていたことを変えることで、またみんながこれまでの当たり前と思ったことを「これは無くてもいいじゃない」「変えてもいいじゃない」という改革のムードが高まってくることを期待しています。
広報課長	<b>閉会</b> それでは以上を持ちまして定例記者会見を終了します。皆さま大変お疲れさまでした。